

## 乗換拠点の改善について

### (1) 目的と位置づけ

乗換拠点の改善は、バス路線網再編に伴って、乗継利便性の向上を図る必要があることから、バスや他の交通機関とのバス乗換拠点について改善を進めるものであり、平成21年3月策定の「熊本市地域公共交通総合連携計画」において利用促進策の一つに位置づけられている。

### (2) 平成22年度事業概要

平成22年度は、平成23年3月の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を見据え、バスとの乗り換え利用者が多いと想定される鉄道駅（JR上熊本駅、南熊本駅、水前寺駅）において、乗換え案内板の設置などを行うことで利便性の向上を図る。

### (3) 平成22年度事業の整備イメージ

資料2別紙を参照。

### (4) 整備スケジュール

平成21年度 バス乗換拠点改善の全体計画を策定

- ・全体計画におけるバス乗換拠点（42箇所）の短期改善施策のイメージ

バス停の改善等の  
案内情報提供の改善



上屋設置等の  
待合環境の改善



平成22年度 鉄道駅における乗り換え情報の提供等の実施

- ・H22年6月～12月 関係機関協議、事業内容の詳細検討
- ・H23年1月下旬 業者選定、契約締結
- ・H23年2月～3月中旬 案内板設置等の整備

平成23年度以降 全体計画に基づき乗換拠点の改善を実施

- ・5年程度で全体計画における短期改善施策の実施を目指す。